

競 技 規 則

改定年月日 2022 年 4 月

葉山国際カンツリー倶楽部の競技に関する一切の事項は本規則に拠るものとする。

第 1 条 本規則の運用について、一切の事項は競技委員会（以下委員会と略称する）がこれを決定する。

第 2 条 スクラッチ競技を除くすべての競技は、ハンディキャップを附し、整数で行い小数点以下は切り捨てる。

第 3 条 競技に参加するプレーヤーは、当倶楽部ハンディキャップ取得者に限る。

第 4 条 競技の編成は、毎年 4 月 1 日より翌年 3 月末日までとし、委員会の審議を経て理事会が最終決定する。

第 5 条 各競技において、定刻内に参加者が 16 名に達しない場合は不成立とする。但し、グランドシニア選手権、女子倶楽部選手権、火曜杯、土曜杯は 8 名とする。

第 6 条 各競技に出場するための参加資格は、次の通り区分する。

- (1) 月例杯参加者資格のハンディキャップは 16.9 迄を A クラスとし、17.0～36.9 迄を B クラスとする。但し、理事長杯を除くその他のアンダーハンディ競技は、ハンディキャップ 37.0 以上は、36.9 として出場できる。
- (2) 倶楽部選手権及び社長杯参加者資格のハンディキャップは 14.9 迄とする。
- (3) 理事長杯参加者資格のハンディキャップは 18.9 迄とする。
- (4) グランドシニア選手権参加者資格は、ハンディキャップ 28.9 迄とし、開催年度満 70 歳以上のプレーヤーとする。
- (5) シニア選手権参加者資格は、ハンディキャップ 28.9 迄とし、開催年度満 60 歳以上のプレーヤーとする。
- (6) 女子倶楽部選手権参加者資格は、女性（出生時）でハンディキャップ 20.9 迄とする。
- (7) 六大競技に出場する場合、予選日の 6 カ月前から倶楽部競技に原則 2 回以上（うち 1 回は月例競技に）参加することを条件とし、疑義が生じた場合は、委員会において裁定する。なお、倶楽部競技には、KGA が主催する「関東倶楽部対抗競技」及び「関東女子倶楽部対抗競技」を含むものとし、スクランブル杯（団体競技）は含まない。

第 7 条 ストロークプレー競技は、通常下記の条項の下にこれを行うものとする。

- (1) 規定によりハンディキャップ委員会より正式のハンディキャップを受けたプレーヤーに限る。
- (2) 競技参加を希望するプレーヤーは、予め定められた方法により委員会まで申し込まなければならない。

—申し込み方法—

六大競技及びスクランブル団体選手権、スクランブルペア選手権の申し込みは、競技日の 14 日前の 12 時迄に申し込みのこと。（電話申し込み可）

- (3) 六大競技参加者は、申し込みと同時に参加費を納入するものとする。この参加費は不参加の場合でも払戻しはしない。なお、学生の参加は認めない。又、卒業年度も含む。
- (4) 競技の組合せ及びスターティングタイムは、委員会が決定し、各参加者に通知する。但し、月例杯・火曜杯・土曜杯・春分杯・勤労感謝の日杯・新年杯は、当日組合せする場合もある。
- (5) スタート時間の原則 30 分前までにチェックインが済まされていない場合は競技失格となる場合がある。
- (6) 月例杯参加者の無断欠席者の罰則として、1 回目は次月の倶楽部競技の出場停止、競技規則改定日より 1 年間で 2 回目については次月から 3 カ月間の倶楽部競技の出場停止とする。なお、次月に決勝が開催される 2 日間以上の月をまたぐ六大競技については予選に出場できない。
- (7) 競技の組合せは、2 人以上 4 人をもって組合せ、場合によってマーカーを附す。
- (8) 六大競技の予選通過者は競技参加者の 4 割を目処として、組み合わせ作成日に委員会で決定する。
- (9) 六大競技の規定は、別途配布される競技規則に拠る。

第 8 条 スコアカード提出の際、アテストは同伴競技者（又はマーカー）とする。

第 9 条 競技参加者は、規定ホールを終了後、直ちに同伴競技者によって正しくアテストされ、かつ自署した上、スコアカードボックスに投入しなければならない。それに反した場合は失格とする。

第 10 条 六大競技及びスクランブル団体選手権、スクランブルペア選手権を除く競技の順位決定において、タイスコアとなった場合、ハンディキャップの少ない者を上位とし、同位の場合は年齢順とする。

第 11 条 各競技について、委員会の成績発表（館内掲示）がなされた時点をもって終了したものとみなす。

第 12 条 試合使用クラブは R & A が定める最新『適合ドライバーヘッドリスト』の条件を適用する。

第 13 条 試合使用球は R & A が定める最新『公認球リスト』の条件を適用する。

第 14 条 コース内に、補助ゴルフバッグの持ち込みを禁止する。

第 15 条 各競技において競技委員が不在の場合は、マスター室が代行する。

第 16 条 委員会は必要に応じて、臨時ローカルルールを規定する。詳細はその都度クラブハウス内に掲示し、その日から効力を発生する。

第 17 条 各競技について悪天候のため、実施上支障があると認めた時は、委員会において、ラウンドの変更あるいは、打切中止する場合がある。

第 18 条 競技に参加し正当の理由なくして NR した場合は、次回の競技に於いて入賞資格を失う。（委員会が認めた場合を除く）

第 19 条 本規則について疑義が生じた時は、委員会の裁定を求めなければならない。この場合、委員会の裁定は最終である。

第 20 条 本規則及びローカルルールの規定にない事項は総て J G A 競技規則に拠る。

※六大競技とは、倶楽部選手権・理事長杯・社長杯・女子倶楽部選手権・シニア選手権・グランドシニア選手権とする。

ローカルルール

ダイヤモンド

- ① アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する（白杭で結ばれている保護金網は、その金網の外側をOBとみなす）。
- ② 修理地は青杭を立て白線をもってその限界を標示し、プレー禁止区域とする。
- ③ 球が目的ホールの白杭を結ぶ線を越え隣接ホールに入った場合は、アウトオブバウンズとする。
- ④ No 6 ホールにおいて、レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は、線をその限界とする。
- ⑤ レッドペナルティーエリアの縁を最後に横切った場合、追加の救済の選択肢として、そのペナルティーエリアの反対側にドロップすることができる。
- ⑥ コース内の管理道路、排水溝、バンカーの排水柵、散水栓、樹木の支柱、目土箱、その他の構築物は動かさない障害物とする。
- ⑦ 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道および軌道間はプレー禁止の修理地とし、その上に球がある場合、ゴルフ規則16.1a、ゴルフ規則16.1bを適用しなければならない。但し、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることができる。
- ⑧ No 1、No 2、No 4、No 5、No 7、No 8、No 9、No 11、No 12、No 13、No 14、No 15、No 17 ホールにおいてティショットがアウトオブバウンズもしくはロストボールになった場合、前方特設ティより第4打として打つこととする（六大競技を除く倶楽部競技は、前方特設ティを使用する）。
- ⑨ No 6、No 7、No 8、No 11、No 12、No 13、No 15、No 16 ホールにおいて球が黄縞杭を結ぶ線を越えた場合、罰打1打を加えて球が止まった地点から境界線内のラフ（フェアウェイを跨がない）でホールに近づかない後方にドロップする。但し、黄縞杭を結ぶ線を越えたボールがロストボールになった場合は、そのラインを横切ったと思われるところを基点とした境界線内のラフ（フェアウェイを跨がない）でホールに近づかない後方にドロップする。（六大競技には適用しない）
- ⑩ 六大競技では、前方特設ティは使用できない。
- ⑪ 倶楽部競技を除いて、ジェネラルエリア6インチプレスすることができる。
- ⑫ グリーン上ではパター以外のクラブの使用を禁止する。
- ⑬ ホールとホールの間での練習ストロークを禁止する。
- ⑭ 球がピンとスプリングラーヘッドおよびグリーン前後のポイント杭を結ぶプレー線上で、スプリングラーヘッドおよびポイント杭から2クラブレングス以内に止まっている場合に限り、ホールに近づかず基点（ニアレストポイント）より1クラブレングス以内にドロップすることができる。但し、スプリングラーヘッドおよびポイント杭がグリーンより2クラブレングス以内にあるときに限る。
- ⑮ 上記各号以外のローカルルールについては、随時クラブハウス内に掲示する。上記以外は、JGAゴルフ規則に拠る。
- ⑯ ローカルルールの違反については、一般の罰（2打罰）とする。

ローカルルール

エメラルド

- ① アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する（白杭で結ばれている保護金網は、その金網の外側をOBとみなす）。
- ② 修理地は青杭を立て白線をもってその限界を標示し、プレー禁止区域とする。
- ③ 球が目的ホールの白杭を結ぶ線を越え隣接ホールに入った場合は、アウトオブバウンズとする。
- ④ No 17ホールにおいて、レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は、線をその限界とする。
- ⑤ レッドペナルティーエリアの縁を最後に横切った場合、追加の救済の選択肢として、そのペナルティーエリアの反対側にドロップすることができる。
- ⑥ コース内の管理道路、排水溝、バンカーの排水柵、散水栓、樹木の支柱、目土箱、その他の構築物は動かさない障害物とする。
- ⑦ 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道および軌道間はプレー禁止の修理地とし、その上に球がある場合、ゴルフ規則16.1a、ゴルフ規則16.1bを適用しなければならない。但し、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることができる。
- ⑧ ティーショットがアウトオブバウンズもしくはロストボールになった場合、前方特設ティより第4打として打つこととする（六大競技を除く倶楽部競技は、前方特設ティを使用する）。
- ⑨ 六大競技では、前方特設ティは使用できない。
- ⑩ 倶楽部競技を除いて、ジェネラルエリア6インチプレースすることができる。
- ⑪ グリーン上ではパター以外のクラブの使用を禁止する。
- ⑫ ホールとホールの間での練習ストロークを禁止する。
- ⑬ 球がピンとスプリングラーヘッドおよびグリーン前後のポイント杭を結ぶプレー線上で、スプリングラーヘッドおよびポイント杭から2クラブレングス以内に止まっている場合に限り、ホールに近づかず基点（ニアレストポイント）より1クラブレングス以内にドロップすることができる。但し、スプリングラーヘッドおよびポイント杭がグリーンより2クラブレングス以内にあるときに限る。
- ⑭ 上記各号以外のローカルルールについては、随時クラブハウス内に掲示する。上記以外は、JGAゴルフ規則に拠る。
- ⑮ ローカルルールの違反については、一般の罰（2打罰）とする。

大会概要

1、開催日 令和4年8月28日（日）

2、使用コース ダイヤモンドコース（キャディ付き）OUT、IN各コース 7時30分スタート～

3、競技方法 18ホールストロークプレー・スクラッチ競技。スクランブル方式による団体戦。

4、参加人数

チームは4名で構成し、16組を上限とする。また、チーム名を12字以内（英字は半角扱い）で事前に申請しなければならない。申し込みチームが8組に達しない場合は、競技不成立とする。

試合当日、構成メンバーが3名になった場合、そのチームは3名のチームに則った競技方法でプレーすることができる。ただし、構成メンバーが2名まで減った場合、そのチームのスコアは参考記録となる。

5、参加資格とその制限

当倶楽部の正会員、平日会員で、当倶楽部のハンディキャップ取得者に限る。なお、学生の参加は認めない（卒業年度も含む）。

1 チームにおけるプレーヤー合計のハンディキャップは36以上とする。試合当日、構成メンバーが3名になった場合、ハンディキャップ27以上はチームとして成立、26以下は入賞（第1位～第3位）対象外となる。（ハンディキャップは令和4年7月1日時点）

6、メンバー変更

令和3年8月27日（土）12時迄、1チーム1名迄認められる。

7、使用ティーマーカー

男性プレーヤーは競技特別ティー、女性プレーヤーはレディスティーを使用する。※開催年度満60歳以上のプレーヤーはレギュラーティー、競技当日満70歳以上のプレーヤーはゴールドティーの使用を認める。但し、プレーの途中で使用ティーマーカーを変更することはできない。

8、スコアカード

専用スコアカードを使用する（スコアカード記入例参照）。ラウンド終了後、すみやかにアテスト会場（マスター室前）でスコアを記入し、マスター室に提出しなければならない。マーカーはキャディとし、署名を必要とする。

9、競技参加費

1,500円（税抜）／1人あたり

10、申込受付開始

令和4年7月28日（木）から

11、申込受付締め切り

令和4年8月14日（日）12時迄

12、競技規則

当倶楽部専用規則『競技の条件』並びに『ローカルルール』（下記参照）を適用する。競技がスムーズに進行できるように必ず事前にお読みください。

13、表彰式

表彰式は開催いたしません。第1位から第3位まで、賞品として倶楽部商品券を贈呈いたします。

競技方法

1、スクランブル方式

チーム全員がティーショットを打つ。セカンドショット以降は、そのなかからチームとしてベストポジションと思われるボールを選択し、その地点から、また全員が打つ。それをカップインまで繰り返していく。

2、ティーショットの回数制限

ティーショットにおいては、18ホールのうち、1人最低4ホール（4ホール×4人＝16ホール）を選択しなければならない（3名のチームの場合は1人最低5ホールとする）。残りの2ホール（3名のチームの場合は3ホール）は、チーム内の誰のティーショットを選択しても構わない。ホールアウトの時点でこの条件をクリアできなかった場合は、1ホールにつき2打罰を付加する。

注1) 第1打において全員が「OB」の場合は、まず、誰のボールを選択するかを確認したうえで、第3打目として全員がティーショットをする。前方特設ティーがあるホールにおいては、誰のボールを選択するかを確認したうえで、前方特設ティーから第4打目として全員がショットをする。

注2) 男女混合チームにおいて男性の第1打がすべて「OB」の場合は、暫定として誰のボールを選択するかを確認したうえでレディスティーに進み、女性のティーショットの結果を踏まえて最終的に誰のティーショットを選択するかを決める。前方特設ティーがあるホールにおいては、暫定として誰のボールを選択するかを確認したうえでレディスティーに進み、第1打において全員が「OB」の場合は最終的に誰のティーショットを選択するかを確認したうえで、前方特設ティーから第4打目として全員がショットをする。

注3) 女性チームにおいてレディスティーからティーショットを打った後、全員が「OB」の場合は、まず、誰のティーショットを選択するかを確認したうえで、第3打目として全員がレディスティーよりショットをする。前方特設ティーがあるホールにおいては、誰のボールを選択するかを確認したうえで、前方特設ティーから第4打目として全員がショットをする。

3、ティーショット～グリーン

ティーショットは全員が打つ（男性と女性は使用ティーが異なる）。セカンドショット以降は、全員のなかから1つのボール（チーム内で考えたベストポジション）を選択し、その地点にティーペグ（またはマーク）を置く（ティーペグやマークは最後のプレーヤーがボールをプレースするまで取り除いてはならない）。そのティーペグ（またはマーク）を中心にカップに近づかない半径30cmの半円内に自分のボールをプレース（良いライに置いたり、ボールを拭くことができる）して、全員が打つ。打順は自由で、チーム内で決められる。それをグリーンオンまで繰り返す。

注1) 選択されなかったボールは、プレーヤー各自がすみやかにピックアップする

注2) ラフにあるボールを選択したら、ラフにプレースする。ラフとフェアウェイの境のラフ側のボールを選択した場合には、半円内にフェアウェイにかかってもラフにプレースしなければならない

注3) バンカーにあるボールはバンカー内にプレースする。ショットごとに砂を均すことができる

4、グリーンオン～カップイン

グリーン上では、選んだボールにマークする（マークは最後のプレーヤーがボールをプレースするまで取り除いてはならない）。そしてカップへ近づかない半径15cm（6インチ）の範囲内にプレースをし、順番にパッティングする。打順は自由で、チーム内で決められる。外した時はホールに近い場合、「お先に」のパットも認める（この場合、スコアは仮確定）。

スコアが確定したら、以降の打順のプレーヤーはパットすることができない。このパットは練習ストロークとみなされ、2打罰を付加する。